



ご近所仲間で 火災延焼を未然防止 4人の方に市長表彰

住宅地での火災を早期発見し、初期消火活動に参加した福田町の4人に、3月27日、市表彰規定に基づき市長が感謝状を贈りました。日ごろの近所づきあいが功を奏し、連携プレーで被害の拡大を防ぎました。皆さんにそのときのお話を聞きました。

「火が大きくなるのを見たときは、震えがきました。」

2月1日、向かいの家から煙が上がっているのを見た高島昭子さんは、白い煙がどんどんと黒くなっていき、炎を上げていくようすに、高島さんはとっさに火事ではないかと、隣の倉橋さん宅にかけこみました。

日曜日の昼、自宅でテレビを見ていた倉橋孝人さんと美和子さんご夫婦は高島さんの声で外に飛び出しました。見ると煙が大きく上がっている。孝人さんは、家の外に常備しているバケツに水を入れ、美和子さんに渡すと、別のバケツに水を汲み、美和子さんに続いて消火活動に走りました。

そのとき、第一発見者の高島さんは、家の人に知らせようと、外から大きな声で呼びかけていました。しかし、返事はなく、今度は宮畑政行さん宅に走りました。聞きつけた宮畑さんが声を



高島昭子さん



倉橋孝人さん



倉橋美和子さん



宮畑政行さん

かけると、中から家人が出てきて、安全を確保。すぐに119番通報しました。

「消防の方から電話番号と場所を聞かれました。いつもなら何でもないことなのに、急に聞かれて番号を迷いましたね」と宮畑さん。通報を終え、急いで現場にもどると、倉橋さんご夫婦の適切な消火活動で火も勢いを失っていました。その後は、みんなそろってバケツとホースを使った消火活動を行い鎮火。被害拡大を未然に防止しました。

「消火器を家に置いておかないと。あのときは、バケツに水がたまるのがとても遅く感じました」と孝人さん。次の日、美和子さんはさっそく消火器を買いに出かけました。第一発見者の高島さんが、周囲に協力を求め、倉橋さんご夫婦が適切に初期消火を行い、宮畑さんが迅速に消防署に通報。ご近所づきあいで培った底力が、地域の安全を守ります。

わかたけ3号が出発しました！



左から
大乗小学校6年 藤本大雅くん
竹原中学校1年 井上慎也くん
宮本真衣さん

わかたけ号では、たくさんのお本をご用意して、皆様のご利用をお待ちしています。娯楽本から実用書まで、ご要望にこたえ、様々な本をお届けしますので、お気軽にどしどしご利用ください。



4月2日、市役所前でわかたけ3号の出発式が行われました。「わかたけ」と名づけられた市内を巡回するこの移動図書館車も、この度、3代目となりました。

わかたけ3号の車体の絵は、昨年内小学生から応募のあった246点から選ばれた3人の作品（スナメリ・竹・虹）を組み合わせてデザインされています。

また、今回、室くじの助成金で購入されたわかたけ3号は、車いすの人も利用できるように、リフトが設置されています。

大人から子どもまで、多くの人に愛される移動図書館として活躍していきます。

頼家伝統の味を知る

町並保存地区で寺子屋学習・交流塾春期講座(計6回)を開催。3月29日の講座では、「頼家の味」をテーマに、頼家伝来の資料から、祭事を重んじる頼家の生活と、くらしに密接につながる食生活を解き明かしました。



竹原の特産 酒蔵を一般公開

4月4日、竹原の特産品である酒の醸造工程を知ってもらおうと、中尾醸造で蔵開きが開催されました。近代的な機械が導入された今も、杜氏の方の長年の経験が、おいしい味の決め手になっています。



春の陽気に誘われて

4月5日、バンブー公園で桜まつりが開催されました。桜は3分咲きでしたが、家族連れなど多くの人でにぎわいました。ステージでの演奏会やダンスなど多彩な催しに、会場は大いに盛り上がりました。



ピカピカの1年生 入学おめでとう

4月6日、市内10小学校で入学式が行われ、200人の児童が入学しました。

忠海西小学校では、18人の新1年生が、先生に名前を呼ばれて、「はい!」と元気よく返事をしていました。



伝統の植木市 今年もにぎわう

4月11・12・13日、忠海で宮床まつりが開催されました。

名物の植木市なども開かれ、多くの来場者が青々とした植木に足を止めていました。暖かい日差しに春も本番。



22事業所が参加 緊急求人説明会

3月30日、たけはら美術館文化創造ホールで緊急求人説明会が開催されました。

この説明会は、市の雇用状況の急激な悪化に対応するため、竹原市雇用対策協議会、竹原市、ハローワーク竹原、竹原商工会議所の主催により開催されたものです。

当日は、22事業所が参加し、137人が来場しました。また、相談コーナーも設置され、就職に関する情報も提供されました。



科学技術分野の 文部科学大臣表彰を受賞

三井金属鉱業株式会社竹原製煉所に勤務する越智丈嘉さんが、科学技術に関する研究開発などで顕著な成果を収めた人に贈られる「科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」を受賞しました。

越智さんは、二次電池負極材であるMH合金の生産性を改善したことが評価されました。4月14日には、市長への報告会も開かれ、和やかな雰囲気の中、喜びを語られました。